

おひさま



冬にかかりやすい子どもの病気

※できるだけ早く受診してください。

★ロタウイルス性下痢症★ (乳幼児嘔吐下痢症)

灰色から白っぽい粘土のような下痢のうんちと、激しい嘔吐が特徴です。

2～3日の潜伏期間の後、激しい嘔吐と下痢が起こります。また、高い熱がでる場合もあります。下痢の症状は通常3～8日続きますが、乳幼児では1週間以上長引くことがあります。

激しい嘔吐や下痢に発熱も加わることで、急に身体の水分が少なくなってしまうため特に脱水症状には気をつけましょう。

＜脱水症状を見分けるポイント＞

- ・唇が乾いて、かさかさしている
- ・おしっこの量や回数が減る
- ・顔色が悪く、泣き声が弱々しくなり、ぐったりしてくる
- ・呼吸が苦しそう

★インフルエンザ★

乳幼児は特に注意！風邪と似た症状ですが、急速な悪化を見逃さないようにしましょう！

インフルエンザウイルスによる流行性感冒ウイルスにはA・B型などがあり、その年によって流行するものが異なります。

インフルエンザは39度近い高熱とともに、さまざまな症状が現れます。だるさ、寒気、関節痛、せき、鼻水、のどの痛みのほか、腹痛、下痢、嘔吐などの消化器系の症状を伴うこともあります。高熱は1週間近く続き、一旦下がってもまた上がったり、しつこく続きます。合併症として、急性細気管支炎、急性気管支炎、肺炎、中耳炎などがあります。稀にですが、インフルエンザ脳症を併発して重い後遺症を残すことがあるので注意が必要です。



★冬のあそび★



冬にはお正月の伝統的な遊び（羽根つき・こま回し・かるた・百人一首など）がありますね。冬休みやお正月など家族が集まる機会に季節の遊びを楽しんでくださいね！

